

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	キャットミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人大阪創都学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	総合学科 総合音楽専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	総合学科 総合スタッフ専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 ボーカル専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 ギター専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 ベース専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 ドラム専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 キーボード専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ミュージシャン学科 ミュージッククリエイター専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ダンス学科 ストリートダンス専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	ダンス学科 ダンスパフォーマンス専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	音楽技術学科 音響エンジニア専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	音楽技術学科 照明スタッフ専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	音楽技術学科 音楽ビジネス専攻	夜・通信	1760 時間	80×2=160 時間	
	音楽技術学科 ギタークラフト専攻	夜・通信	1880 時間	80×2=160 時間	
	楽器ビジネス学科 ギタークラフト専攻	夜・通信	1880 時間	80×2=160 時間	

(備考)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

インターネット (<https://www.cat.ac.jp/data/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	キャットミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人大阪創都学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネット（<https://www.cat.ac.jp/data/>）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士 (1990.4～)	令和2年6月 26日～令和6 年6月25日	財務関係
非常勤	株式会社 代表取締役 (2007.11～)	令和2年6月 26日～令和6 年6月25日	企画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	キャットミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人大阪創都学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。	
授業計画書の公表方法	インターネット (https://www.cat.ac.jp/data/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 個人の評価は、教科ごとに前期・後期の各々100点満点評価としている。評価は、「優」100～90、「良」89～80、「可」79～60、「不可」59以下の4段階評価。各教科履修を認めるレベルは「可」以上となり、「不可」の場合は、科目履修単位を認めず、各学期として補講や追試を行う。また、学科ごとの履修状況を確認していくため、下記の指標を設定している。「優」=3、「良」=2、「可」=1、に置き換え個人の平均数値を出し、それを1.0未満、1.0以上1.5未満、1.5以上2.0未満、2.0以上2.5未満、平均数値2.5以上の5段階に分けて表とグラフにして分析。成績の分布状況を理解して全体的な学生指導に役立て、今後のカリキュラムの内容に関する検証や改善に努めている。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	インターネット (https://www.cat.ac.jp/data/)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定、HPに公表している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	インターネット (https://www.cat.ac.jp/data/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	キャットミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人大阪創都学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.cat.ac.jp/data/
収支計算書又は損益計算書	https://www.cat.ac.jp/data/
財産目録	https://www.cat.ac.jp/data/
事業報告書	https://www.cat.ac.jp/data/
監事による監査報告（書）	https://www.cat.ac.jp/data/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ダンス学科 ストリートダンス専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	120 <u>単位時間</u> /単位	420 <u>単位時間</u> /単位	200 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	1020 <u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人内数		40人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステムを導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	7人 (38.9%)	11人 (61.1%)
(主な就職、業界等)			
ダンス・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ダンスエンタテインメント業界で就業可能な技術を習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	3人	7.1%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施、個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ダンス学科 ダンスパフォーマンス専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	120 <u>単位時間</u> /単位	420 <u>単位時間</u> /単位	200 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	1020 <u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人内数		9人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	7人 (38.9%)	11人 (61.1%)
(主な就職、業界等)			
ダンス・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等) ダンスエンタテインメント業界で就業可能な技術を習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	3人	7.1%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的を実施、個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 ボーカル専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <small>(単位時間) / 単位</small>	480 <small>(単位時間) / 単位</small>	120 <small>(単位時間) / 単位</small>	1160 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1760 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		20人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	6人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 ギター専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	480 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	1040 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		8人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	6人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 ベース専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <small>(単位時間) / 単位</small>	480 <small>(単位時間) / 単位</small>	240 <small>(単位時間) / 単位</small>	1040 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1760 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		7人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	6人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 ドラム専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <small>(単位時間) / 単位</small>	480 <small>(単位時間) / 単位</small>	240 <small>(単位時間) / 単位</small>	1040 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1760 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		12人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	6 人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・ 経済的理由 ・ 別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的 to 実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 キーボード専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	480 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	1040 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		1人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	6人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ミュージシャン学科 ミュージッククリエイター 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 単位時間/単位	420 単位時間/単位	360 単位時間/単位	980 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1760(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		26人	0人	6人	34人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	5人 (16.7%)	24人 (80.0%)
(主な就職、業界等)			
音楽・エンタテインメント業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術の習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	6人	8.6%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	音楽技術学科 音響エンジニア専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	300 <u>単位時間</u> /単位	300 <u>単位時間</u> /単位	1160 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人内数		50人	1人	9人	17人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	29人 (76.3%)	9人 (23.7%)
(主な就職、業界等)			
音楽・音響・照明・映像関連業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 音楽・エンタテインメント業界で就業可能な技術の習得 舞台機構調整音響機構調整施業 3 級・2 級/映像音響処理技術者資格認定試験 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82 人	7 人	8.5%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	音楽技術学科 照明スタッフ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	540 <u>単位時間</u> /単位	980 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人内数		18人	1人	9人	17人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要） 自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオリンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	29人 (76.3%)	9人 (23.7%)
(主な就職、業界等)			
音楽・音響・照明・映像関連業界			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション 			

(主な学修成果(資格・検定等)) 音楽・エンタテインメント業界で就業可能な技術の習得/照明技術者技能検定2級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	7人	8.5%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	音楽技術学科 音楽ビジネス専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <small>(単位時間) / 単位</small>	240 <small>(単位時間) / 単位</small>	540 <small>(単位時間) / 単位</small>	980 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1760 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人内数		17人	1人	9人	17人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオオ rientalシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	29人 (76.3%)	9人 (23.7%)
<p>(主な就職、業界等) 音楽・エンタテインメント業界</p>			
<p>(就職指導内容) ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション</p>			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>音楽・エンタテインメント業界で就業可能な技術の習得 イベント検定/ビジネス能力検定3級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	7人	8.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由 ・別途進路へ進む為 		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	音楽技術学科 ギタークラフト専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1880 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	240 <u>単位時間</u> /単位	1400 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1880 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人内数		3人	1人	9人	17人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオレンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	0人 (0%)	29人 (76.3%)	9人 (23.7%)
<p>(主な就職、業界等) 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界</p>			
<p>(就職指導内容) ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション</p>			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界で就業可能な技術を習得</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>82人</p>	<p>7人</p>	<p>8.5%</p>
<p>(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	楽器ビジネス学科 ギタークラフト専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1880 <small>(単位時間) / 単位</small>	240 <small>(単位時間) / 単位</small>	240 <small>(単位時間) / 単位</small>	1400 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1880 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人内数		10人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオレンタルシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	7人 (70.0%)	3人 (30.0%)
<p>(主な就職、業界等) 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界</p>			
<p>(就職指導内容) ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 楽器製造・卸・販売及び音楽関連業界で就業可能な技術を習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合学科 総合音楽専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <u>単位時間</u> /単位	420 <u>単位時間</u> /単位	60 <u>単位時間</u> /単位	1280 <u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位	<u>単位時間</u> /単位
			1760 <u>単位時間</u> /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人内数		22人	1人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオオ rientalシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネジメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	9人 (52.9%)	8人 (47.1%)
<p>(主な就職、業界等) 音楽・音響・照明・映像関連業界</p>			
<p>(就職指導内容) ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術を習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	1人	2.1%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合学科 総合スタッフ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 <small>(単位時間) / 単位</small>	420 <small>(単位時間) / 単位</small>	60 <small>(単位時間) / 単位</small>	1280 <small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>	<small>(単位時間) / 単位</small>
			1760 <small>(単位時間) / 単位</small>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人内数		23人	1人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）前後期の2期制。実技中心の授業で課題をSTEP BY STEPで積み上げていながら成長を促していく。教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。年度開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。年度開始時に学生に公開。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）履修認定は、1科目の授業に対して年間で固定している講師(教科担当)が、学科長/専攻責任者と協議してその評価の仕方を決定する。前期・後期に分けて行う科目試験(実技試験や筆記)と授業出席率は、大きな評価基準としている。また、科目ごとに違いはあるが、授業内での実習平常点、随時行う課題提出作品、小テスト、レポート、専攻ごとに企画される発表プレゼンイベント等が加味され、個人の成績評価に反映される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）本校では、学則及び教育理念/教育目標に基づき修業年限や科目の履修認定を受けるとともに専門教育を通じたクリエイティブな人材としての成長やコミュニケーション能力などの社会適応能力を身に付け、さらなる自己成長に向け研鑽できる人材に対し卒業認定を行います。詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）自己の学科学習だけではなく他学科に存在する基準的な科目への体験学習制度(オープン・セレクトカレッジ)、専攻科目授業の演習・実習に伴う時間不足を補うための課外授業(チューター制度)、個人・グループが自発的に活動できるスタジオオ rientalシステム等を導入している。また、アーティスト・クリエイター・業界マネージメント関連を招いた特別授業や就職セミナー、外部ホール等への鑑賞や観劇等を行う。企業依頼の研修イベント等も学修支援の場と考え、専攻・学科・グループ全体の繋がりを共有できるようにしている。社会奉仕活動として近隣イベントへの参加や協力、内外問わず業界イベントへの協力活動等を行い、大きな意味での社会人教育にも力を入れる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	9人 (52.9%)	8人 (47.1%)
<p>(主な就職、業界等) 音楽・音響・照明・映像関連業界</p>			
<p>(就職指導内容) ・企業研修/就活対策講座/業界企業合同説明会 ・CAT チャレンジシステム/公開オーディション</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 音楽業界で就業可能な技術を習得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	1人	2.1%
(中途退学の主な理由) ・経済的理由 ・別途進路へ進む為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談を定期的実施, 個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合学科	100,000 円	1,290,000 円	50,000 円	
ミュージシャン学科	100,000 円	1,290,000 円	50,000 円	
ダンス学科	100,000 円	1,290,000 円	50,000 円	
音楽技術学科	100,000 円	1,290,000 円	50,000 円	
楽器ビジネス学科	100,000 円	1,290,000 円	50,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにおいて公開 (https://www.cat.ac.jp/data/)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価 (学校運営・教育活動・学生支援・教育環境・学生の受け入れ募集など) を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校の活動について説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために様々な角度からその運営が適正に行われているのか等、審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役	平成30年4月1日～令和4年3月31日 (4年) (任期更新)	企業等委員
科学技術学園高等学校 大阪分室長	平成30年4月1日～令和4年3月31日 (4年) (任期更新)	校長等
第6期生 (1994年卒業) (株式会社白竜社取締役)	平成30年4月1日～令和4年3月31日 (4年) (任期更新)	卒業生
株式会社リバフオール 代表取締役会長	平成30年4月1日～令和4年3月31日 (4年) (任期更新)	地域
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにおいて公開 (https://www.cat.ac.jp/data/)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにおいて公開 (https://www.cat.ac.jp/data/)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	キャットミュージックカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 大阪創都学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		46人	43人	45人
内 訳	第Ⅰ区分	24人	24人	
	第Ⅱ区分	10人	12人	
	第Ⅲ区分	12人	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				45人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	—
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	—

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	—
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（様式2号の1関係）

設置者名 大阪創都学園

学校名 キャットミュージックカレッジ専門学校

学科名	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時間数	実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)を公表しているホームページアドレス <small>※1クリックで授業計画(シラバス)が確認できるアドレスを記載してください。</small>
ミュージシャン学科ミュージッククリエイター専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_mc_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	DAW	180		
	アレンジメント	240		
	シンセサイザー	120		
	制作実習	240		
	プリプロダクション	240		
	ソングライティング	120		
	ミュージシャン学科ミュージッククリエイター専攻合計	1760		
ミュージシャン学科ボーカル専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_vocal_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	歌唱技術	480		
	アンサンブル	240		
	コーラス	120		
	フィジカルコントロール	120		
	音楽理論Ⅱ	60		
	ソングライティング	120		
	ミュージシャン学科ボーカル専攻合計	1760		
ミュージシャン学科ギター専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_guitar_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	演奏技術	480		
	アンサンブル	240		
	楽器演奏ゼミ	120		
	音楽理論Ⅱ	60		
	ソングライティング	180		
	リズムゼミ	60		
	ミュージシャン学科ギター専攻合計	1760		
ミュージシャン学科ベース専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_bass_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	演奏技術	480		
	アンサンブル	240		
	楽器演奏ゼミ	120		
	音楽理論Ⅱ	60		
	ソングライティング	180		
	コードゼミ	60		
	ミュージシャン学科ベース専攻合計	1760		

ミュージシャン学科ドラム専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_drum_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	演奏技術	480		
	アンサンブル	240		
	楽器演奏ゼミ	120		
	音楽理論Ⅱ	60		
	ソングライティング	180		
	コードゼミ	60		
	ミュージシャン学科ドラム専攻合計	1760		
ミュージシャン学科キーボード専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_key_jitsumu2021.pdf
	音楽理論	60		
	音楽史	120		
	音響基礎	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	演奏技術	480		
	アンサンブル	240		
	楽器演奏ゼミ	120		
	音楽理論Ⅱ	60		
	ソングライティング	180		
	リズムゼミ	60		
	ミュージシャン学科キーボード専攻合計	1760		
総合学科総合音楽専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_sogo_jitsumu2021.pdf
	音響工学	120		
	音響実習	360		
	照明実習	120		
	演奏技術	240		
	アンサンブル	240		
	音楽理論	120		
	音楽史	60		
	パソコン演習	60		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	レコーディング実習(選択)	120		
	照明実習Ⅱ(選択)	120		
総合学科総合音楽専攻合計	1760			
総合学科総合スタッフ専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_staff_jitsumu2021.pdf
	音響工学	120		
	音響実習	360		
	照明実習	120		
	企画制作	120		
	映像制作	240		
	照明実習Ⅱ	120		
	照明工学	120		
	パソコン演習	120		
	一般教養	120		
	イベント制作	80		
	業界研究	120		
	総合学科総合スタッフ専攻合計	1760		
音楽技術学科音響エンジニア専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_sound_jitsumu2021.pdf
	音楽技術論	120		
	技術演習	240		
	一般教養	60		
	ハード実習	180		
	ミキシング	120		
	Pro Tools	60		
	PA実習	120		
	レコーディング実習	120		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	レコーディング実習Ⅱ(選択)	240		
	Pro ToolsⅡ(選択)	120		
	レコーディング工学(選択)	60		
	PA実習Ⅱ(選択)	240		
PA技術(選択)	120			
PA演習(選択)	60			
音楽技術学科音響エンジニア専攻合計	1760			

音楽技術学科照明スタッフ専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_light_jitsumu2021.pdf
	音楽技術論	120		
	技術演習	240		
	一般教養	60		
	パソコン演習	60		
	音響ゼミ	60		
	照明ゼミ	120		
	舞台制作	60		
	プランニング	60		
	メンテナンス	60		
	ムービングライト	120		
	照明実習	480		
	イベント制作	64		
業界研究	136			
音楽技術学科照明スタッフ専攻合計	1760			
音楽技術学科音楽ビジネス専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_business_jitsumu2021.pdf
	音楽技術論	120		
	技術演習	240		
	一般教養	60		
	パソコン演習	60		
	ソーシャルメディア	60		
	音楽ライターゼミ	60		
	コンテンツ制作	120		
	メディア制作	120		
	DTP	60		
	コンサート制作	120		
	マネージメント	240		
	企画制作	120		
	音響実習	30		
	照明実習	30		
	イベント制作	80		
業界研究	120			
音楽技術学科音楽ビジネス専攻合計	1760			
音楽技術学科ギタークラフト専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_craft_jitsumu2021.pdf
	音楽技術論	120		
	技術演習	240		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	クラフト実習	600		
	リペア実習	420		
	音響基礎	180		
	楽器ビジネス学科ギタークラフト専攻合計	1880		
楽器ビジネス学科ギタークラフト専攻	音楽業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_craft2_jitsumu2021.pdf
	音楽技術論	120		
	技術演習	240		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	クラフト実習	600		
	リペア実習	420		
	音響基礎	180		
楽器ビジネス学科ギタークラフト専攻合計	1880			
ダンス学科ストリートダンス専攻	業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_street_jitsumu2021.pdf
	コンディショニング	120		
	音源制作	120		
	ステージ制作	120		
	ストリートダンス実技A	240		
	ジャズダンス実技	180		
	ヨガ	60		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	ストリートダンス実技B	240		
	ダンスマスター(選択)	360		
	インストラクティング(選択)	360		
ダンス学科ストリートダンス専攻合計	1760			
ダンス学科ダンスパフォーマンス専攻	業界概論	120	160	https://www.cat.ac.jp/images/cat/dl/cat_ent_jitsumu2021.pdf
	コンディショニング	120		
	音源制作	120		
	ステージ制作	120		
	ストリートダンス実技A	240		
	ジャズダンス実技	180		
	ヨガ	60		
	イベント制作	64		
	業界研究	136		
	バレエ実技	120		
	表現技法	240		
	パフォーマー(選択)	240		
	テーマパーク(選択)	240		
ダンス学科ダンスパフォーマンス専攻合計	1760			